

大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

実習企業・期間	公益財団法人出羽庄内国際交流財団
実習期間	令和2年2月18日～令和2年2月22日
学生氏名	池田 瑞姫
実習プログラム	1日目 施設見学、資料作成 2日目 資料作成、国旗・本棚整理 3日目 書類整理、日本語講座、初級英語講座 4日目 資料作成、人形整理 5日目 せかいの台所、かんぱせーしょん喫茶、韓国語・中国語・スペイン語講座
学び気づき (300字程度)	この5日間で様々な言語についてはもちろん、事務作業の大変さや自分なりのやり方、コツを自ら探すことの大切さを学ぶことが出来た。小さな作業でも効率的な方法を探す行動自体が今後に繋がると思った。また、普段触れることの出来ない民族についてや世界の人形・国際的なイベントに関わることができ、国際についてさらに興味を持つきっかけになったし、貴重な経験を積むことが出来た。
今後に向けた抱負 (200字程度)	このインターンシップを通して、英語を聞き取ることはできても自分の言葉で伝えることが苦手で言いたいことがあっても自分の言葉で伝えることできない場面が多くあった。まずは単語から一つ一つ覚えてそれから文法も学んでいこうと思った。また、自分から会話を広げる積極性も身につけられるように、普段から色々なことに挑戦したいと思った。
インターンシップをしてきづいた、実習先の魅力	働いている人にも外国の方が多くいらっしやり、働くことで自然と国際的な交流ができる。さらに、言語の種類も豊富な為、多文化交流

(別紙 12)

大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	公益財団法人出羽庄内国際交流財団
実習期間	令和 2年 2月 18日 ~ 令和 2年 2月 23日
学生氏名	齊藤 虎太郎
実習プログラム	主に、外国語教室に関する資料作成、教室の手伝いなど。
学び・気づき (300字程度)	今回のインターンシップでは、庄内には外国人の方が沢山いるということを知れました。様々なイベントなどを通じて、庄内地方には沢山の外国人の方がいることを知るきっかけになりました。それに加えて、外国人の方や、外国の文化に関心のある住民の方もたくさんいることも知ることが出来ました。そこで、出羽庄内国際村はそんな人達の架け橋となるような素晴らしい場所だと思いました。具体的には、「世界の台所」という、何カ国もの人が集まって、各自の国の料理をみんなで一緒につくるところから始めて、最後は、みんなで、自分達で作った料理を食べるというイベントが一番印象に残っています。私が今回のインターンシップで参加させて頂いた際には、タイの郷土料理を食べました。

<p>今後に向けた 抱負 (200字程度)</p>	<p>今まで、英語しか勉強したことが無かったので、今回の経験はとても刺激的なものだった。しかし、中でも一番印象に残ったのは日本語教室だった。スペイン語を勉強するのも初めての経験だったが、日本語を教わると言う経験もとても刺激的なものだった。日本語を勉強している外国人の方が漢字を覚えたり、新しい単語を覚えたりして課程を見て、どんどん日本のことを知っていってくれる感覚はとても楽しいことだと気付くきっかけになりました。この経験から、実際に、将来日本語教室の先生をやりたいと考えるようになった。</p>
<p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p>	<p>今回のインターンシップでは、日本語教室をはじめ、英語教室、スペイン語、韓国語教室、中国語教室など、様々な言語教室の見学をさせて頂いた。見学させていただいた言語教室では、講師をされてるのは全てネイティブの方だった。本場の発音などを学べていてとても良い言語教室だと思った。スペイン語教室などは実際に見学だけではなく、自分達も参加させて頂いた。出羽庄内国際村の魅力は、このように実際にネイティブの方と交流できることだと思った。</p>
<p>写真(1~3点)</p>	<p>実際に食べさせてもらったタイ料理。</p> 